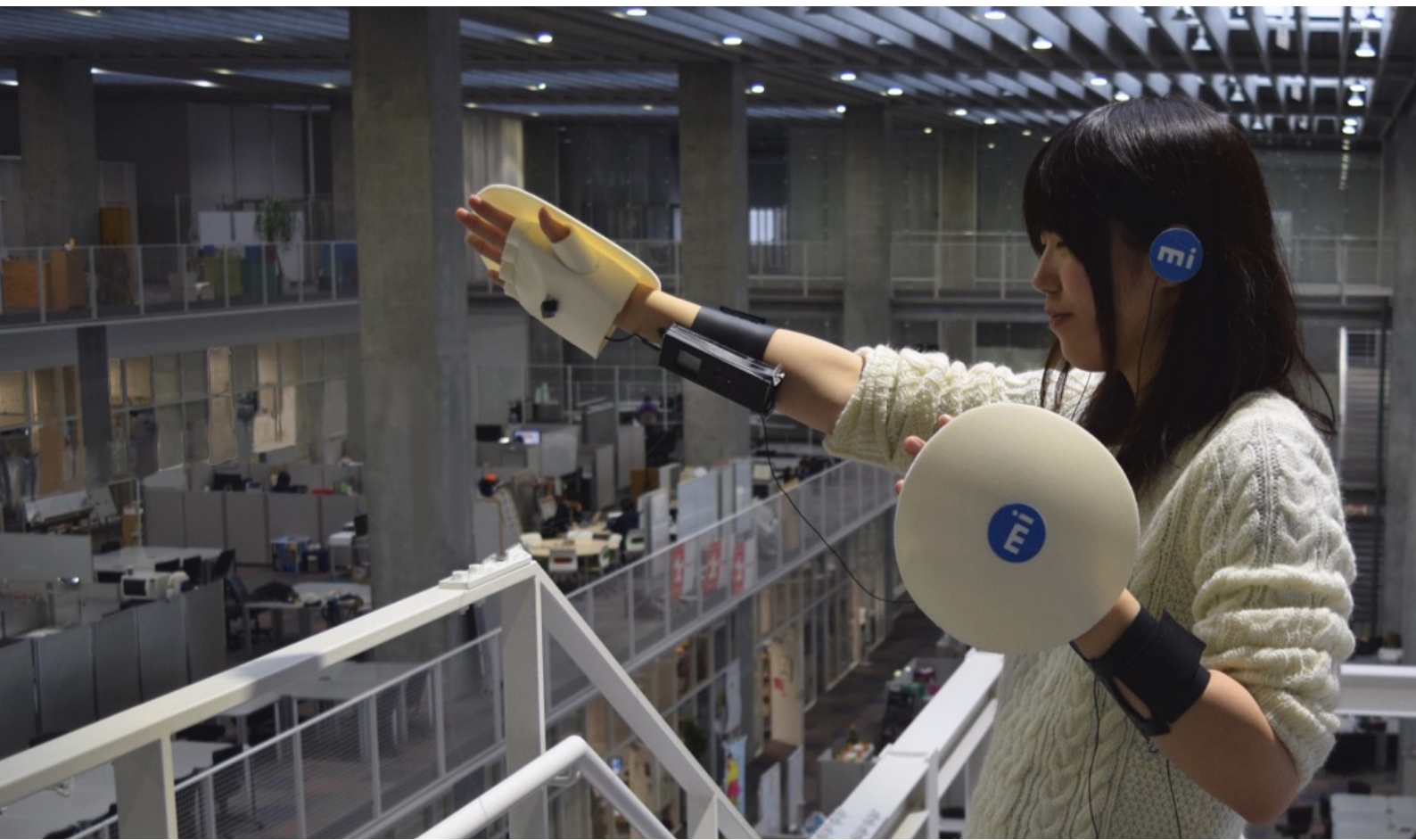
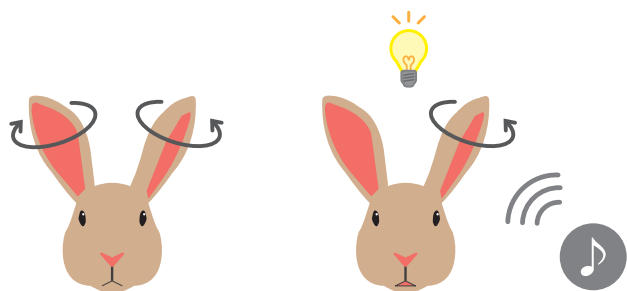




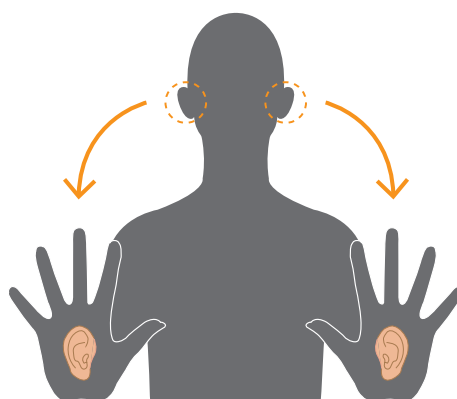
耳の位置を自由に変化



左右の耳がそれぞれ動く

360 度の音源の位置を
聞き分けることが可能

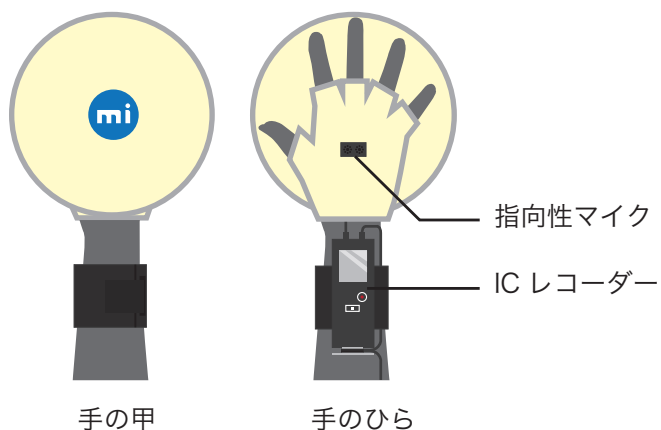
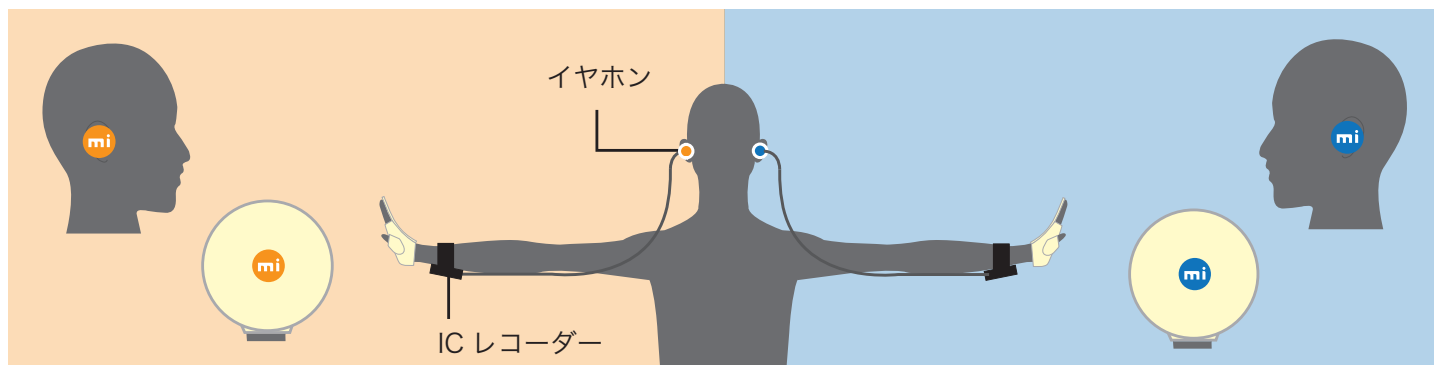
手に耳をつけることによる新しい聞こえ



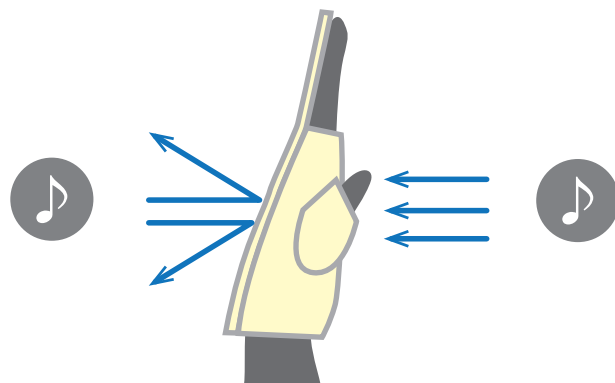
人間は耳を動かす筋肉が発達していないため、耳を動かすことは難しい。それに比べてウサギなどのあらゆる動物は耳を動かす筋肉が発達しており、耳を左右別々に動かすことができる。そこで人間の耳も位置を自由に変化させることによって新しい聞こえを得ることができるのではないかと考えた。

耳の位置を借りる場所として手を選んだ。手は上下左右自由に動かすことができ、さらに腕を伸ばしたり縮めることによって距離も変化させることが可能である。無数の位置や距離の組み合わせにより、様々な聞こえを得ることができると思う。

システム



特定の音を捉えやすい性質を持った指向性マイク、片耳イヤホン、それらを繋げる媒体としてICレコーダーから構成される。指を自由に動かすことができるため、片手で装着することができる。



布よりも固い素材を使うことで手を動かしたときにマイクが拾ってしまう雑音を減らしている。手の甲側に壁を作ることで後ろ側からの音を遮音し、より指向性を高めている。

手を動かすという聞き方



聞きたい音のある方向に手のひらに向けて使用する。手を動かすことで顔を前に向けた状態であらゆる向きの音をはっきりと聞くことが可能である。手の位置だけでなく、お椀型にしたり手を合わせたりの動作で集音、耳を閉じるなどの効果が感じられる。

音と触れ合う



音を包み込む新しい感覚

自分の聞きたい音だけに集中することができ、手をあわせると耳を塞ぐような感覚に、自由に動かすことで世界がぐるぐると回っているような感覚を味わうことができる。スピーカーなどの音源を手で覆うようにすることで音を包み込み、音と触れ合う感覚を得ることができる。